

## 2 - 8 東北地方日本海沿岸における潮位観測

1986年5月—1987年10月

Tidal Observation along the Western Coast of the Tohoku District  
(May, 1986 - October, 1987)

東北大学 理学部  
Faculty of Science, Tohoku University

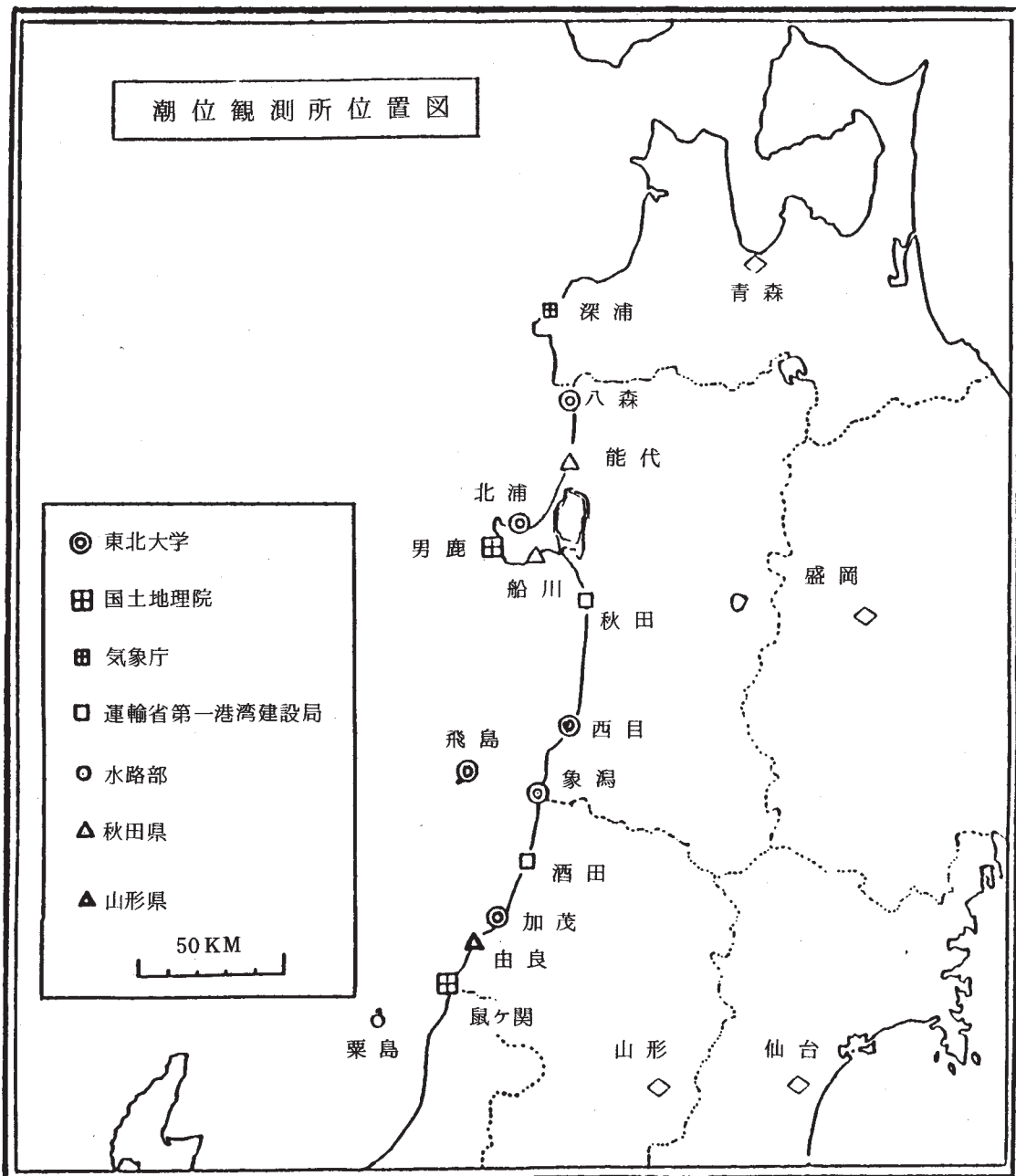
東北大学は、第5次地震予知計画に基づき、6ヶ所の海岸地殻変動観測所を設置した<sup>1)</sup>。第1図にはこの地域の潮位観測所の位置を示した。図からもわかるように、本学の施設は他機関による潮位観測所の分布を考慮して配置されている。国土地理院海岸昇降検知センター（男鹿・鼠ヶ関）、気象庁深浦測候所、運輸省第一港湾建設局秋田港工事事務所、秋田県（船川・能代）より提供された各地の観測データを合わせて解析することにより、より精度良く海岸部の地殻変動を検知できるようになった。

第2図、第3図は各観測所での日平均潮位の変化図である。最下段に本荘での気圧変化を示した。気圧変動に伴う潮位変化が共通して見られるほかに、波浪等の影響による短期間の海面上昇が局地的な地形を反映して、場所により異なっていることがわかる。

第4図は、各観測所と北浦との日平均潮位の差の変化である。この図では5日間の移動平均を施してある。八森、男鹿、西目で潮位差に短期の変化が見られるのは、風や波浪の影響による局地的な高まりである。期間が短いので量的な把握は難しいが、年周変化が各観測所間の差に見られ、年周変動の振幅が地域によって異なっていることがわかる。飛島と北浦との潮位差には、数週間を周期とする変化が見られ、離島の観測値には海流の変化等他の要素の変化も加わっていることを示唆している。

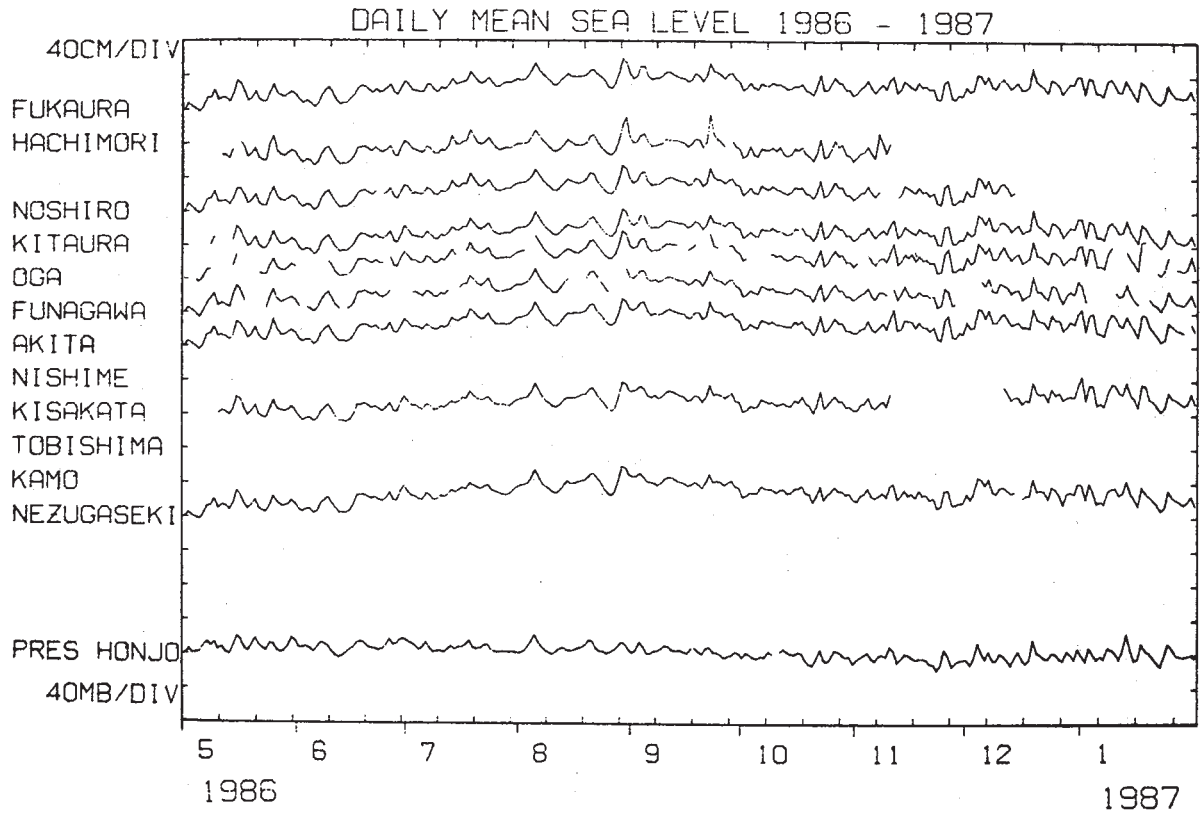
### 参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：東北地方日本海沿岸における潮位観測（1986年5月～1986年7月），連絡会報，37（1987），83 - 88.



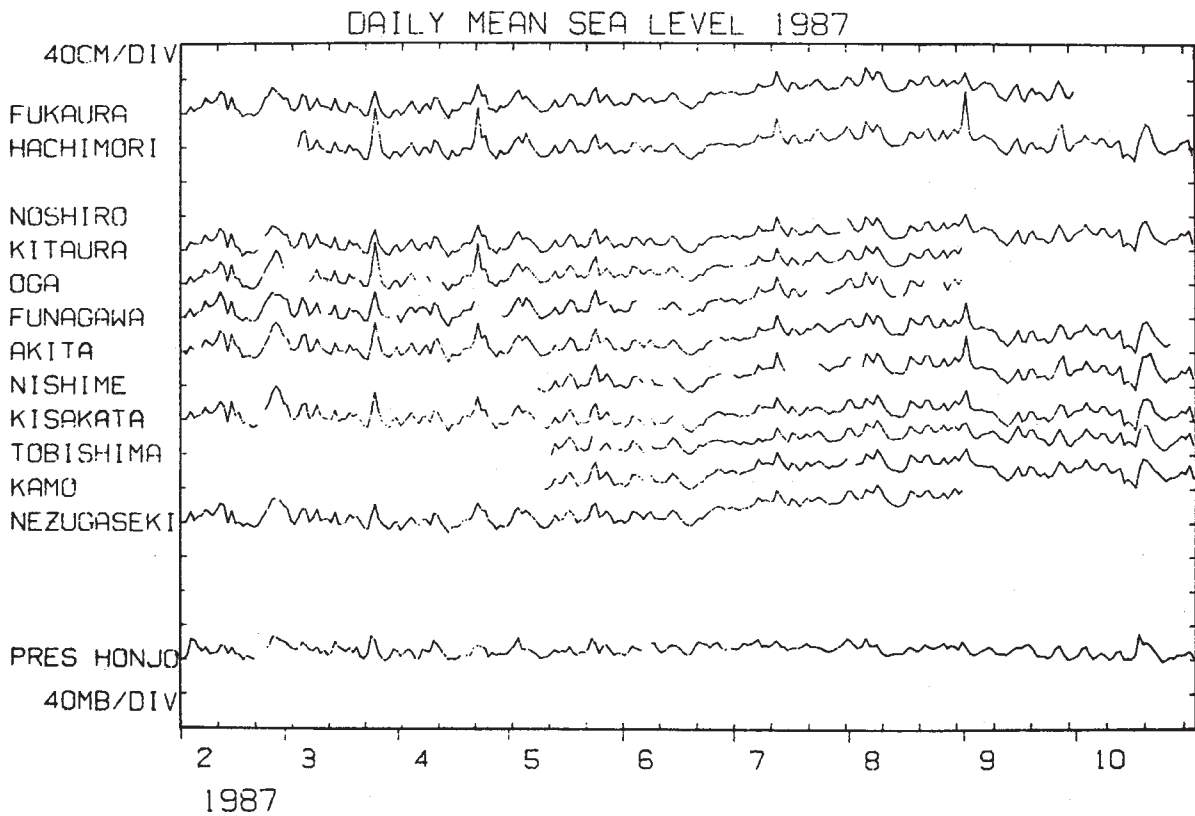
第1図 東北地方日本海沿岸の潮位観測所位置図

Fig. 1 Location of tidal stations along the western coast of the Tohoku District.



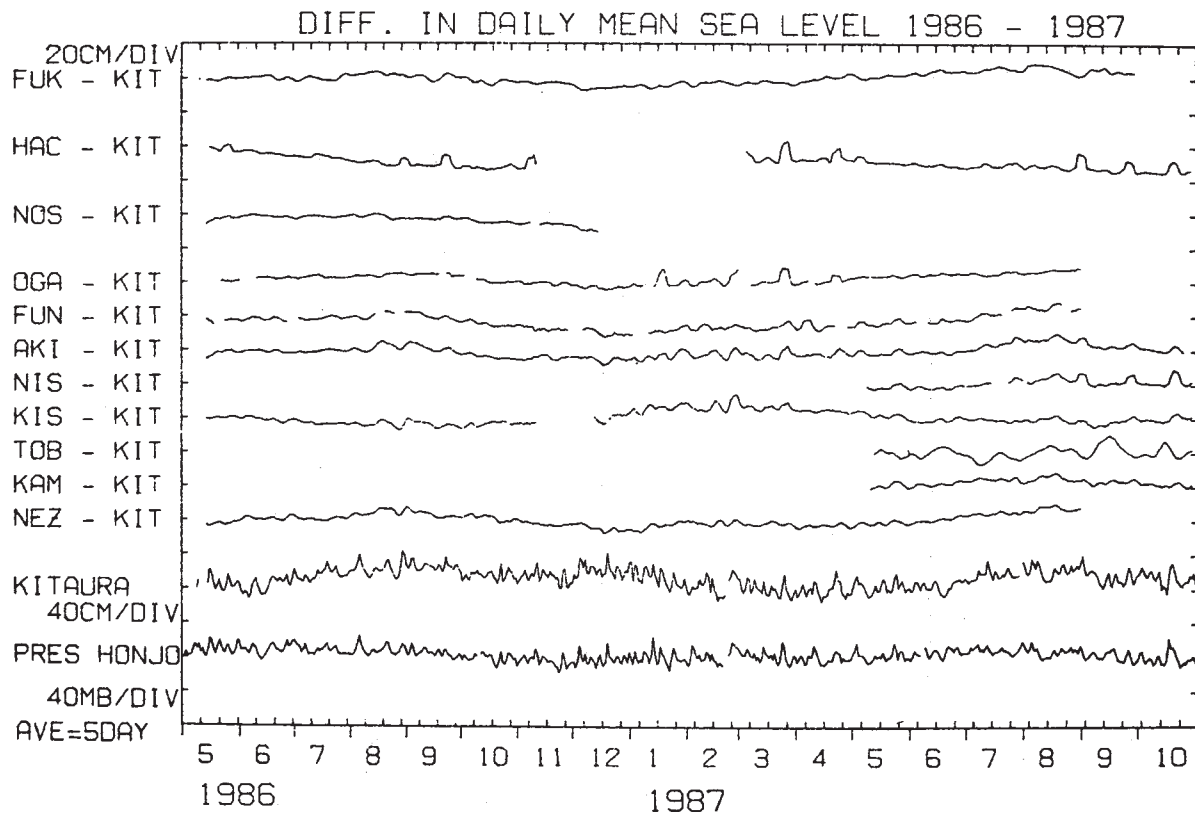
第2図 第1図の各観測所での日平均潮位（1986年5月～1987年1月）それぞれ国土地理院（男鹿，鼠ヶ関），気象庁（深浦），運輸省第一港湾建設局（秋田），秋田県（能代，船川）及び東北大学（八森，北浦，西目，象潟，加茂，飛島）による観測値を用いた。気圧は本荘の観測値を用いた。

Fig. 2 Variation of daily mean sea level observed at each station shown in Fig. 1. (May, 1986 - January, 1987).



第3図 各観測所での日平均潮位 (1987年1月~1987年10月)  
観測資料は第2図と同じ

Fig. 3 Variation of daily mean sea level. (February, 1987 - October, 1987).



第4図 それぞれの観測所と北浦との日平均潮位の差, 及び北浦の日平均潮位 (1986年5月~1987年10月)

Fig. 4 Variation of difference in daily mean sea level at each station referred to Kitaura (After 5 days' running mean). (May, 1986 - October, 1987).